



カトリック 大磯教会 だより

3月号

2022 2/27 発行



発行  
〒255-0002  
神奈川県中郡大磯町東町 2-7-1  
カトリック大磯教会(宣教部広報)  
Tel 0463-61-0303/Fax 0463-61-9889  
E-Mail catholic-oiiso@mh.scm-net.ne.jp  
URL <http://www.scm-net.ne.jp/~cathoiso/>

## 謝肉祭と四旬節

Y. A



『爺さん（婆さん？）、辛気臭い顔してなんだいその痩せ細った体は。さあ、これでも食べ！』と謝肉祭。『どうした、お前のその弛んだ体は、今は回心の時、食べるのであればこの魚を食べなさい！』と四旬節が答える。擬人化された謝肉祭と四旬節が緩く争っています。そんな絵画がピーテル・ブリューゲル『謝肉祭と四旬節の戦い』であり、ウィーン美術史美術館に現在所蔵されています。先日、『最後の決闘裁判』という映画を見た後に、あることが切っ掛けで改めてこの絵画を眺めてみました。抜き差しならない状況を終始徹底したリアリズムで映し出したリドリー・スコット監督の表現力は圧巻でした。方やブリューゲルの『謝肉祭と四旬節の戦い』にも人間の愚かさを描写し尽くすリアリズムがあります。単純に比較はできませんが対立構図であることは明らかです。

さて、日本においてはあまり馴染みのない謝肉祭と四旬節ですが、2004年、些か古くはありますが、私はドイツにおいて忘れられない体験をしました。まずはカーニバル（謝肉祭）の様子を当時の日記（欧州街道懐中日記として個人的に配信していた）から見てください。

## 欧州街道懐中日記『村祭りのご陽気でした』 20040223

今日は、日曜日。カーニバルもたけなわ。明日が最終日です。そろそろ祭りもピークを迎え、先ずは地域毎にローカルな盛り上がりを見せます。我がエラー地区も頑張っています。役場の前に仮設舞台を作り、地域のお歴々が壇上に陣取り、すし詰め状態でご陽気に合唱。既に酔っています。何かあるたびに「ヘラウ! Helau!」と叫びます。それに呼応して仮装している大衆が同じく「ヘラウ! ヘラウ!」と連呼します。今日は無礼講の日です。お母さんは子供の乳母車にビール、つまみを満載にして出勤です。カーニバルは仮装をするのが慣わしで、観光客もリボンくらい髪につけるのがエチケットなんだそうです。大人の仮装はちょっと怖い。血だらけの白衣を着たドクターやナース、特におばさんの魔女の仮装は怖いです。魔女はドイツが本場のようで、本物の凄みがあって笑えません。しかし子供の仮装などはなんとも可愛らしく、思わずシャッターを切ってしまう。



『エラー地区のカーニバル』

ローカルならではのパレードが実に面白く、簡単に言うとショボいのですが。例えば横浜の港祭りのそれを思い浮かべてはいけません。あんな洗練されていないところがいいんです。高校生の文化祭レベルを田舎くさくしたものと考えてください。山車のデコレーションもホントに笑っちゃいます。それでも「ヘラウ! ヘラウ!」と叫べば気前良くお菓子を投げしてくれます。この観客に投げて振舞うお菓子の経費は全て、自分持ちなんだそうです。立派な心掛けでこの日のために一年間働いている人もいるそうな。人間、ほどこしているうちは平和だよなあ。カーニバルに関してはドイツ人のイメージが崩れるご陽気さで、ほんとにローカルを楽しんでいました。明日は洗練されているというケルンのカーニバルを見学する予定です。画像添付します。

このようにドイツの人々は四旬節を前に老若男女問わず浮かれ騒ぐのであります。それもつかの間、四旬節は訪れます。我々もオランダ国境に近いケベラという巡礼地へ向かいました。十字架の道行き、その後ごミサにあずかります。日本人司牧の濱口神父様と宮崎カリタスのシスター方と車で移動です。街中が静かで寒い、それが四旬節の印象です。現地に向かう車中で家内が神父様にお昼のおにぎり食べますかと尋ねます。「今は断食中なのでいらない」との答え。「えー？」と我々は顔を見合わせます。昼は無しです。この日はまさに寒く、ひもじく、厳しく、つらい十字架の道行になりました。天気と言えはこの季節のドイツならではの曇り、霜景色です。寒さに関しては未体験ゾーンで日本の靴など役に立ちません。完全に霜焼けで感覚がありません。聖堂の内部も外同様、聖歌も凍える白い息。建築内部の美しい装飾など、もはやどうでも良いです。ホカロンだけが異常に温かい、早く帰りたい! 無表情の我々はトボトボと聖堂を後にします。そんな折、シスターが笑いを提供してくれました。帰りはシスターの車です。「皆さん、シートベルトは大丈夫ですか?」「それではお祈りを、」ここで祈り?我々は顔を見合わせます。ちょっと怖い。イグニッションがキュルキュルと響き、2回の空ぶかしの後、スピード自慢のシスターはアウトバーンを130キロ巡行で疾走するのでした。これが我々の四旬節の貴重な経験でした。



『デュッセルドルフカーニバル』



『ケルンカーニバル』

ところで『謝肉祭と四旬節の戦い』の絵画についてですが、ブリューゲルの作品には共通の不気味さが漂います。異様な雰囲気醸し出すものは人々の視線です。これだけ多くの人物が描かれているのに、何故か視線が交わる人物が存在しません。擬人化された『謝肉祭』と『四旬節』さえもです。互いが仇であるならば、睨む程度の視線の合致があって然るべきです。不思議です。その理由についてはブリューゲルの生きた時代が影を落とします。当時、フランドルはスペイン領であり、プロテスタントに対する圧政や宗教的抗争が繰り返されていました。処刑が日常に行われ、隣人同士の密告もあり、互いにかかわりを持つことの困難な時代であったと云われています。死は突然訪れる、そんな時代を生きる人々の唯一の知恵は見ぬふりをする事だったのでしょくか。行違う視線の理由、不気味な雰囲気はこのようにして絵画の中に封じ込まれているのです。リアリズムの描写より、更に恐ろしい描写がブリューゲルの絵画なのです。



ケペラ『ローソク奉献の聖堂』



『聖母のバシリカ』



『謝肉祭と四旬節の戦い』

## 2月度(第11回)委員会報告

1. 日時・場所 2022年2月5日(土) 10:00～11:30 於:信徒会館
2. 議事
  - (1) 蔓延防止措置期間のミサについて
    - ・2/27 まで延期が予想される。座席の間隔(1メートル)等対策を徹底し、歌は入祭・派遣の歌のみ歌う。
  - (2) 横浜教区典礼研修会(テーマ「ミサをともにささげるわたしたち」)
    - ・小教区毎で開催する。YouTube、DVD 両方申し込み。
  - (3) 信徒集会資料内容の確認 [信徒集会資料、年間行事予定表、地区別活動役割表、大磯教会役員(役割表)]
    - ・復活祭、クリスマスなどの行事については、担当の地区で話し合い、出来る形で行う。
    - ・年間行事予定表、集会資料はできるだけ内容を少なくする。
    - ・印刷は2/12(土)、13日(日)に配布。
3. 報告
  - (1) 典礼関係
    - ・ミサ式次第の実施に向けて、先唱者、侍者、朗読者等の勉強会を行っていく予定。
    - ・灰の水曜日3/2 早めにかごを置く。灰作りは27日の集会後。
  - (2) 福祉・財務 特になし
  - (3) 管理関係
    - ・3月から信徒館前の雨水工事開始予定。
4. その他
  - (1) 撮影中間報告
    - ・3月8日頃まで撮影予定。15日放映終了。献金は大規模修理(雨水工事含む)に。
  - (2) 第6地区運営会報告
    - ・1/30 茅ヶ崎教会 教区福祉委員会の芹沢神父様から「障害と共に歩む集い」についての説明、運営会・全体会の出席者について話し合われた。
  - (3) 掃除の際の注意事項
    - ・白く変色してしまう、アルコール消毒液で聖堂の机を拭かないこと。液だれに注意。
5. 次回 第12回委員会  
3月5日(土)、10:00～11:30、

## 2月度月例会報告

1. 日時 2022年2月13日(日)11:50～12:30
2. はじめの祈り
3. 委員会報告 ※委員会議事録参照
4. その他意見
  - ・ミサの感染症対策について一蔓延防止法が適用され、感染症が蔓延している。
  - ・間隔があかず密になる場合が増えているので、以前していた着席位置のシールを貼って欲しい。→ベンチごとに、3名2名ずつ互い違いに貼る。
5. 典礼委員よりお知らせ
  - ・年間役割分担表を掲示した。訂正希望は申し出てほしい。
6. 終わりの祈り

**2022年3月及び4月第1週のミサ 奉仕者予定**

日	主日 司式	聖書 朗読箇所	聖歌			
			入祭	答唱	奉納	派遣
2日	テハン神父 11:00 灰の水曜日	I ヨエル 2・12-18 II ニコリント 5・20~6・2 福 マタイ 6・1-6、16-18	典117	典6 ①②	典144	典153
6日	タム神父 四旬節第1主日	I 申命記 26・4-10 II ローマ 10・8-13 福 ルカ 4・1-13	典175	典129 ①②③	典7	典44
13日	韓神父 四旬節第2主日	I 創世記 15・5-12、17-18 II フィリピ 3・17~4・1 福 ルカ 9・28b-36	典27	典73 ①②③	典139	典77
20日	原田雅樹神父 (ドミニコ会) 四旬節第3主日	I 出エジプト 3・1-8a、13-15 II コリント 10・1-6、10-12 福 ルカ 13・1-9	典6	典93 ①②③	典144	典153
27日	スターカル神父 四旬節第4主日	I ヨシュア 5・9a、10-12 II ニコリント 5・17-21 福 ルカ 15・1-3、11-32	典411	典128 ①②③	典167	典166
3日	テハン神父 四旬節第5主日	I イザヤ 43・16-21 II フィリピ 3・8-14 福 ヨハネ 8・1-11	典37	典154 ①②③	典7	典183

灰の水曜日までミサ曲2、6日(四旬節第1主日)からミサ曲4

■2022年3月の掃除当番

第1週(~5日)	第2週(~12日)	第3週(~19日)	第4週(~26日)
石・国・二A	石・国・二B	平塚・秦野A	平塚・秦野B

※テレビ撮影とお掃除についてお願い

- ・撮影期間中にお掃除当番に当たっている場合は、原則としてお掃除の必要はありません。
- ・信徒館・聖堂・トイレ共に使用後はテレビ局のスタッフの方がお掃除を行います(撮影は3月までの予定です)。
- ・しかし、聖堂については、主日のミサ前日夜遅くまで撮影が行われることもあり、十分にお掃除がされていないとご指摘もありましたので、その週のお当番の方はミサの前に少し早く来て頂き、汚れ具合の状況を確認して頂きますと助かります。ご理解、協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

暦は雨水末候の草木萌動。雪や氷は溶けて水となり農耕の準備が始まります。大船フラワーセンターの梅は七分咲きで、我が家の河津桜も咲き出しました。そして北京五輪のフィナーレ、羽生結弦選手のエキシビション「春よ、来い」に感動。新型コロナウイルス狂騒曲は一体いつまで続けられるのでしょうか？英国では今後一切の自粛活動を撤廃するのだと報じられています。春の訪れとともにこの混乱と不安が融けて無くなるよう、お祈りしたいと思います。

